



Junior Drive
Shiraishi Racing School

REPORT

報告書

4月26日（金） 岡山ライセンステスト
フォーミュラトレーニング

2024
4 Apr





23℃

Track
OKAYAMA

Driver
Onohara/Hwang/Kitamura

3-4期生の岡山ライセンステスト

3期生の小野原智(11)とファン・ヘイン(12)。4期生の北村有志(12)の3名が岡山国際サーキットのライセンステストに挑みました。

朝の受付を済ませ、早速1時間の講習がスタート。国際サーキットでのマナーやルールなどをここで学びます。講習を終え、いよいよ実技テストが始まります。まずは小野原から実技テストがスタート。試験官の指示されたギヤや周回数のカウントなど、ドライバー自らが考えて操作しなければなりません。小野原はこれまで練習してきた通りの走りができ、問題なくこの試験をクリアしました。

2人目は北村が実技テストに挑みます。3名の中で最も経験が少ないものの、試験官の指示通りに進めていきました。最後はファンが走行します。緊張からかシフトミスがやや目立ちましたが、途中から感覚を取り戻し後半はミスを圧倒的に減らすことができました。3名とも実技テストを無事に通過し、残すは最後のフルコースで2周走行するだけとなりました。

これまでシミュレーターで何度も走ったコースを実際に走れる瞬間がやってきました。まずは小野原が初の国際サーキットへとコースインしていきました。先導車の後ろを走行し、ピットアウト〜ピットインのルートやコーナーポストの確認をしていきます。北村、ファンとすべてのドライバーがフルコースでの走行を完了しました。最後に発行されたばかりのライセンスカードを受け取り、この日のすべての目的を達成することができました。





23℃

Track
OKAYAMA

Driver
Miura/Hashiramoto

台数が多い中でのトレーニング

1期生の三浦柚貴（17）と3期生の柱本翔夢伊（13）がトレーニングに参加しました。曇り空で過ごしやすい気候の中、トレーニングがスタートしました。

この日はレースウィーク真っ只中のため、台数が多く混雑した中でいかにタイムを出すかの練習に最適でした。1本目は三浦がドライブします。この日は三浦のテレビ取材の撮影も行われ、取材陣がいる中でのトレーニングでした。三浦は数カ月ぶりの走行でしたが、そのブランクを感じさせない走りを見せました。

2本目は柱本が走行します。柱本にとっては、ここまで台数の多い中での走行は初めてで最初は戸惑った様子でしたが、周回を重ねるごとに慣れていきました。

2名とも1本目で収集した走行データを元に修正箇所を発見できました。午後からの走行では、それぞれの違った課題をクリアするための走行となります。

最後の走行ではコンディションの良いタイヤへ交換して、タイムアップを図ります。三浦は台数が多くクリアなラップを取るのが非常に難しい中ではあったものの、1周を纏めることに成功し好タイムを記録しました。柱本も課題克服に取り組み、ラップタイムもこれまでで最も三浦に接近しており自信を得られた様子でした。





Junior Drive
Shiraishi Racing School



舞洲スポーツアイランド

Tommykaira

GARAGE38
Luce ed ombra

FTK corporation



PAINT BY
O.N.O.inc



NEWS

2期生の杉田悠真(15)がレースデビュー！

2期生の杉田悠真(15)が公式戦初のフォーミュラレースに挑みました。杉田は2年前にここ岡山国際サーキットでトレーニングをスタートさせ、この日のために走り込みをしてきたドライバーです。デビュー戦ではありますが、誰よりもこの岡山国際サーキットを走行し熟知しています。

杉田は木曜フリー走行から速さを見せます。全くの無名だった杉田は、セッションが進むたびに他チームからマークされるようになりました。フリー走行では、杉田のコメントをもとにマシンのセットアップを行いました。そして金曜日には自身初のニュータイヤを装着し、予選でのタイムアタックのシミュレーションを行いました。

万全の体制で迎えた決勝当日。この大会では2回のレースが行われ、朝の予選結果がレース1のスターティンググリッドとなります。杉田は初の公式予選へと入っていきましました。15分間の時間でベストラップを叩き出さなければなりません。ハイレベルな戦いとなり、僅差ではあったものの杉田がトップタイムを記録しデビュー戦でポールポジションを獲得しました。またこのクラスで史上最年少ポールシッターとして新たに記録を樹立しました。

そして迎えたレース1。杉田のデビューレースが始まります。初のフォーメーションラップを終え、一番前のスターティングにつくはずが、自らのミスによりグリッドを通り過ぎてしまい、スタートやり直しとなりました。2度目のフォーメーションラップを終えて無事にグリッドに整列し、いよいよスタートの瞬間がやってきました。杉田はスタートでストールしてしまい、最後尾まで順位を落としてしまいました。そこから1台1台交わしていき、最終的に6位まで追いつけたところでチェッカーとなりました。杉田はファステストラップ(レース中で最も速いタイム)を記録しデビューレースを終えました。

レース2もポールポジションからのスタートとなりました。先ほどの失敗を繰り返さないよう慎重にグリッドにつきました。まずまずのスタートを切り2番手で1コーナーを通過していきましました。緊張からやや走りが硬くなり1台にパスされ3番手にポジションダウンしてしまいましたが、レース後半には本来の走りができるようになり、前の選手と2番手争いを展開しました。最終的に抜くまでには至らず3位となりましたが、2戦目で初表彰台を獲得しました。



鈴鹿・岡山S-FJ選手権

第2戦岡山公式予選 初出場の15歳・杉田悠真がポールポジション 2位に迫隆真が3位に松井啓人が続く



スーパーFJ地方選手権鈴鹿・岡山シリーズ第2戦は28日、岡山国際サーキットで公式予選を行い、初出場の15歳、杉田悠真(レブレーシングガレージ with LAPS)がポールポジションを獲得した。

【トレーニングを終えて】

昨年の1期生の三浦に続き、今年は2期生の杉田が公式戦デビューを果たしました。

走り慣れた岡国ではあったものの、デビュー戦でポールポジションを獲得するなど速さは証明できました。

杉田はレーシングカートの経験はなく、シミュレータートレーニングと、早い段階からフォーミュラのトレーニングを積む独自の方法でこれまでやってきました。

そのやり方が今回の結果で間違っていなかったことを証明してくれました。

杉田の後に続く3-4期生たちの新たな舞台での成長も非常に楽しみです。

Junior Drive講師 白石勇樹





Junior Drive
Shiraishi Racing School

SPORTS KART



舞洲スポーツアイランド

Tommy kaira

GARAGE38
Luce ed ombra

FTK corporation



PAINT BY
O·N·O.inc



Junior Drive
Shiraishi Racing School

